

令和6年度議会懇談会報告書



令和6年12月

与謝野町議会

目 次

はじめに	1
1 開催地区、開催日及び参加者数	1
2 議会懇談会次第	1～2
3 参加者への配布資料	2
4 総括	2～3
5 町長への議会要望事項	3～4
6 議会懇談会における意見、質問、要望等	5～12

《資 料》

議会懇談会アンケート調査の集計結果
会場アンケートでの主なご意見等
与謝野町議会懇談会冊子

令和6年度議会懇談会報告書

はじめに

議会懇談会については、平成24年3月に制定いたしました議会基本条例第4条の規定により開催しております。

今年度におきましては、10月10日から10月16日の期間に町内3カ所の地域で開催することができ45人のご参加をいただきました。

議会懇談会は、広く町民の皆様の声をお聴きする広聴活動の充実を図り、町民の意思を町政に的確に反映させることを目的として開催いたしました。

当日参加者の皆様からいただきました多くのご意見・ご要望等について回答を取りまとめましたので、アンケートの集計結果も併せてご報告いたします。

議会懇談会の開催に当たりまして、区長様をはじめ関係者の方々、ご参加くださいました町民の皆様には多大なご協力をいただきまして、心より厚くお礼申し上げます。

今年度の懇談会も昨年度に引き続き、旧町単位の3ヶ所という形で開催させていただきましたが、懇談会自体の開催方法やあり方について、各会場で皆様から多くのご意見やご提言を頂戴いたしました。皆様からいただきました貴重なご意見等を参考に、さらに創意工夫に努め、より充実した懇談会となりますよう開かれた議会の推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 開催地区、開催日及び参加者数

※午後7時30分開会

地 域	開 催 日	会 場	参加者数
岩滝	10月10日(木)	知遊館	14
野田川	10月15日(火)	野田川わーくぱる	13
加悦	10月16日(水)	加悦地域公民館	18
合 計		3会場	45人

2 議会懇談会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告(各常任委員会報告)

①総務文教厚生常任委員会について

②産業建設環境常任委員会について

③広報常任委員会について

(3) 自己紹介

(4) 懇 談

(5) 閉会あいさつ

3 参加者への配布資料

- ・与謝野町議会懇談会冊子
- ・よさの議会だより（第73号 2024年8月9日発行）
- ・アンケート調査票

4 総括

与謝野町議会では議会基本条例に基づき、二元代表制の下でその一翼を担う議会として、町民の皆様の声を聴く「広聴活動の場」として、議会懇談会を本年度も開催いたしました。

本年度も旧町単位の3地区において、「まちづくり」にテーマを設けて、実施させていただきました。

今回から新たなとして、議員及び参加された町民の方を4つの班に分けて、班ごとに意見交換を行うカフェ方式を採用しました。

初めての取組みですが「まずはやってみよう」との思いで実施しましたところ参加者からは、「少人数で話しやすかった」とおおむね好評であったと感じております。

しかし本年度の参加者数は、昨年度の4会場・57人に対し、今回45人のご参加と、年々参加者が減少する中で、特に今年は衆議院議員選挙期間と重なったり、カフェ方式に戸惑いを感じられたのか参加者が非常に少なかったことが残念でありました。特に女性の参加が少なく、また若い世代の方の参加が全く無く、大変残念でありました。今回もテーマを設けて実施しましたが、議会懇談会の運営の仕方について課題であると認識しております。

しかしご参加いただいた方からは、テーマ以外の話しも含め幅広いご意見がいただけたと感じております。

また、これまでは要望が多い傾向でしたが、今回は多くのご意見をお聞かせいただけ、議会に対する町民の皆様の大きな期待であると受け止めております。

一期目、二期目の議員が多い中、議員としても、また、議会としても大きな収穫であったと考えております。

今回の懇談会の特徴的な意見では、野田川認定こども園の建設の是非、財政問題、人口減少問題、公共交通のあり方など、多岐にわたるご質問・ご意見を聞かせていただき、議員一人ひとりの資質向上が求められていると感じております。

また、財政状況が悪化している中、将来を見据えた議論、現状を踏まえた議論や議会のチェック機能など、議会の果たすべき役割は大きいと感じております。

最後に、議員が今後の議会人として活動していく中において、大きな収穫を得たのではないかと感じる反面、ご参加いただいた皆様からのご質問やご意見に対して

の対応については、即答できない場面も見られたと受け止めております。

以上を踏まえ、今後の議会の課題として

- ① 皆様からいただいた多くのご要望や声を行政に届け、その実現に取り組みます。
- ② 町の政策に対し、対案・提案できるよう努めます。同時に、町民の皆様との「協働」に努力します。
- ③ 議員としての資質向上を一層図ります。
- ④ 各分野の団体との議会懇談会も意欲的に取り組みます。などが挙げられると総括しています。

これからも、

- ① 町民に見える議会
- ② 町民の声を聞き、その期待に応える議会
- ③ 町民の参画と協働で進める議会
- ④ 町民とともに政策提言できる議会

に向けて、より一層努力を重ねてまいりたいと考えています。

5 町長への要望事項

議会懇談会で、町民の皆様から寄せられました町に対するご意見・ご質問・ご要望のうち次の事項について、令和6年12月17日に山崎議長、今井副議長、宮崎議会運営委員会委員長、永島議会運営委員会副委員長が議会を代表し、山添町長に要望書を提出しました。

町要望事項

- (1) ごみ処理施設（宮津与謝クリーンセンター）は、石田地区も影響が出る場所があるので、石田地区にもダイオキシン測定器（公害監視モニター）を設置していただきたい。
- (2) 町政懇談会では、1人1回5分以内。2回目は、誰もしゃべらなかつたら言っして下さいという形式。関連で聞こうとしても受け付けない。ある程度の融通をきかせていただきたい。
- (3) 見られない人も多くいるので、議会の再放送をもっと流していただきたい。
- (4) クアハウス無料券を住民に配布していただきたい。
- (5) 牡蠣殻回収ボランティアには、クアハウス入浴料を無料にしていきたい。
- (6) 明石は空き家が少ない。リフォームなどして住んでいる。行政も不動産業者と連携して空家対策をしていただきたい。
- (7) 防災訓練は、災害発生時に役立つものになっていない。要介護者の避難訓練等の役立つものにしていただきたい。
- (8) 災害が発生した時のために、防災品簡易トイレを公民館に配置をしていただきたい。またトイレ凝固剤も確保していただきたい。

- (9) 敬老会について、地域に丸投げでなくて行政も一緒になってやるべき。独り立ちできるまで行政がしっかりとサポートしていただきたい。
- (10) 古墳公園の横に古民家がある。屋根が藁屋根で朽ち果てているが、文化財であるから、解体できないと聞いている。必要な施設なら修繕してほしい。
- (11) 総合庁舎になるまでは、住民の庁舎のたらい回しにならないように、ITの活用などで、どの庁舎でも対応できる仕組みを作り対応していただきたい。

6 議会懇談会における意見・要望等に対する回答

各会場で町民のみなさまから出された意見・要望等と回答については、別紙のとおりです。

令和6年度 議会懇談会 質問、意見、要望等

質問・意見・要望等	回 答 (対 応)
行政主導でのやり方で議会とのコンセンサスが取れていないのではないかと感じる。行政主導で上げてきた議案に対して議会が待ったをかけられるのか。	議案そのものを撤回することはできないが、修正案や否決は可能。 予算は認めるが条件を付ける意味で、付帯決議を付けることもできる。
中学校の統合が進められていると聞いたが、どこがなくなるのか。	教育委員会から、中学校統合の計画が突然出されていることは事実。どこをなくすかは決まってはいる。
まちづくりと言われても、わかりにくいので、議員にこのテーマにした理由や町の課題を聞きたい。	なんでも「まちづくり」なので、どんな質問もできるように「まちづくり」をテーマにした。
合併20周年を記念して住民にアンケートをとったらどうか。無作為のアンケートではなく、全町民対象にしてほしい。	ご提案としてお聞きさせて頂き、議会でも検討させて頂きたい。全町民がどう思っておられるのか、調査する必要はある。
いつもの議会懇談会は、テーブル(カフェ)ではなく、全体でやってきた。今日が最終日だと思うが、参加人数はどちらが多いのか。	個別テーブルの方が、意見は出しやすいかとは思う。人数的には形式にかかわらず、当初から比べると減っており、議会も一人でも多くの参加が頂けるよう、努力する必要がある。
カフェ形式はざっくばらんで話がしやすい。しかし、他のテーブルの内容がわからない。全テーブルの意見が分からない。	この懇談会で頂いた意見は、今まで通り集約し、報告書にまとめをし、議会だより等でQ&Aという形で、回答させて頂く。
今回の形式ではなく、前回までのやり方では、ほとんどがあれはどうなっている、これを建ててくれ、直してくれといった要望等が主であり、今日のような話はでなかった。要望などが出せる時間も、大きなテーマだけでなく、時間をとって頂いたらありがたいと思う。	今回の形式では、要望だけでなく、いろいろな意見が出たかと思う。いろいろと考えて、今後も取り組んでいきたい。

令和6年度 議会懇談会 質問、意見、要望等

質問・意見・要望等	回 答 (対 応)
音声告知放送で議会傍聴の案内があるが、何について質問するのか解らない。一般質問通告書が見れるようにするべきではないか。	一般質問の通告書は、ホームページで公表している。
議会だよりの議案に対する賛否一覧表を大きくして、反対理由を1行でも書くようにするべき。	反対理由は討論で表明することが基本であり、反対討論は議会だよりにのせています。
クアハウス岩滝は、いろいろ不満を聞いているが、日曜日の夜6時に営業終了する施設は、日本国中どこを探してもないが、どうお考えか。	統計では、土・日曜日の利用者が少なかった経過から、現在はそのような営業時間となっていると町からは聞いている。
給食センターの新設の際には、岩滝小の自校給食はなくなるのか。	給食センター新設の初期段階から、センター化し自校給食は廃止すると町から報告を受けております。
財政の厳しい区も多い。各区に自由に使えるお金を配分すれば現場に応じた効率的な運営ができるのでは。	議員提案等いろいろ方法はありますが、ご意見として伺います。

議会懇談会での意見交換事項

(参加者と議員で一定議論はしたものの、結論に至っていないもの)

- よさの駅の件ですが、当町の玄関口の駅であり、何とか良くしたい。
いとも簡単に、議案を取り下げられた。こども園の話と引き換えという噂も聞く。何なのかと思う。
- よさの駅の件で、正直、行政に入ってもらわなくても民間とクラウドファンディングなんかを利用しながら、何とかとしようとも考えており、1・2年の話でなく、5年、10年でなんとか良くしたいと思っていたが、町が助けてやろうということでの話だったが、どうして、取り下げられたのか、理解ができない。
- よさの駅前の活性化に向けて取り組んでいる。100周年に向け取組み、移住定住や空き家対策に頑張っている。徐々にではあるが頑張っていることを報告させてもらいたい。
- 観光でも、何かを作らないとだめ。SNSで誰かが発信してくれれば、人が来る、集まる。
- 観光資源、歴史的・文化的なものは沢山ある。ニッケル跡もその一つだが、誰も手を付けようとしない。
- 与謝野町の生きる道とは。例えば観光も近隣にはたくさん人がいるが、それをどうやってこのまちに呼び込んでいくのかを皆で考えないといけない。一字観公園はPRしていないのに人が多い。皆でもっとアイデアを出せばいいと思う。
- 自転車道を活用して、電動自転車などでまちを周遊する仕組みを何度も言っているがされない。
- ちりめん街道もイベントに人が少なかった。他のイベントや運動会と重なり分散していた。ちりめん街道をうたうのであればイベントが重ならないように行政が調整するべきだ。
- 町の将来像、どうしたいかわからない。
- まちづくり、やはり役場であるが、旧3町が一つにならないといけないが、庁舎問題も含め、全然なっていない。
- トップが、どう考えるか。その意見が私らに全然伝わらない。庁舎の問題、与謝小学校の活用など、方向性が全く見えない。
- 声が聞こえないので小部屋とかにしてほしい。
- 定例会ごとにこのような懇談会をしてほしい。再放送が終わってからが望ましい。
- 町政懇談会も議会懇談会も旧町単位でされているが、各地区の公民館でしてほしい。例えば全部は大変なので、今年はここですというようにすればできる。区長会でも話が出ていた。平日の夜だけでなく、土日の昼など工夫してほしい。

- この小グループでするのは話せるので良いと思う。ただ懇談会が終わったということだけでなく、色んな意見を吸い上げてほしい。なんでもイエスという議会ではないと思うので、がんばってほしい。
- 年に4回議会があり主になった議題を中心に議会懇談会をしてはどうか。地域の問題などで興味を持つ人が増えるのではないか。
- 議会の様子が分かり、町政に対する意見交換が出来る場を増やすべきではないか。
- 議員報酬を引上げて定数削減をするような議論をしているのか。
- 議会は、チェック機能と言われるが、それだけだと行政の出したものに対してのみの発言になる。提案していくことが大事では。
- 町の計画が住民に知らされていないまま急に物事が進むから、決まったことをやっているように見える。
- 質問の時に理事者が議長に礼する、「只今の議員の質問にお答えします」、また議長に礼をする、この時間が無駄。やめた方がいい。
- 議会が、チェック機関であるならば、総合計画後期基本計画の会議をさせてもらったが、第2次与謝野町総合計画後期基本計画がどこまでできているのかチェックはできているのか疑問に思う。できていない部分のチェックができていない。
- 議員・会派によっては議会報告を入れてくれるのはよくわかる。それ以外の方は理解しにくい。もっとわかりやすい方法で周知してほしい。アドバイスもできるかもしれない。
- 町民の声を何度も聞いて拾って知恵を集めることが重要。
- 議会の監査能力、やると言っていたことができていないのはだれの責任か。
- クアハウス岩滝は現在、直営となっており、今後の方向性については、利用者や住民も街づくりの一つの施設でもあり、大事で関心がある。何か年計画等、今後の見通しもわからないので、議会や委員会でもしっかり町から方向性がでるように、しっかり引き出してほしい。
- クアハウス岩滝も今使用している人だけが使っていても存続できない。有りか無しならあった方が良いが経営としても成り立たない。人を呼び込むアイデアが必要。
- 丹海バスの路線廃止をいわれているが。加悦から福知山へ通うのが大変になる。公共交通の使い勝手が悪い。与謝野駅に行くのに連絡が悪い。
- 乗合交通も住民説明会をするので公民館に来てくださいと言われても、公民館にいけない人が乗合交通を利用する。行政ももっとホームページを見てとか、チラシを配るとか考えてほしい。区独自で知ってもらうために無料乗車体験を区がお金を出して体験してもらった。そういう細かなことをしていかないとい

けない。

●給食センターは説明会が無い中で進められている。こども園は交通問題や災害問題の説明会があったが、町長の答弁は住民の合意がなされたと言われていたが、議員は説明会に行って住民の声は聞かれたのか。

●住民の声を聞かないと議会で判断できるのか。町長は全員と話をして合意ができたと言っておられるが、実際石川の説明会では20人ほどの参加者で賛成は1人だった。他はすべて反対の意見だった。議会もしっかりと町民の声を聞かないと、議会の判断はできないのではないのか。

●議会はチェック機関なのだからしっかりとチェックをしてほしい。このまま行けば町はどうなるかわからない。

●議会で決まったことが正式に地元に降りてこない。文章でもなんでもいいので、今ならまだ間に合うと思う。石川の住民の方にこうなりましたとか、こうなりますとか流れてきたら良いが全然ない。住民は不安だ。

●議会で過去質問して結果が曖昧な事柄を、改めて質問して議会だよりなどで公表してほしい。

●こども園の定員は。野田川は180人。生まれるのは100人ちょっと。2園で十分では。地盤沈下する場所ではないか。石川保育所は残せないのか。農地だと思うが、開発ができる見込みがあるのか。

●こども園は、なぜ新しいのが必要なのか。石川小学校でも、いずれは合併しなければならぬ事はわかるはずだ。普通、家ならいろいろ考えるし、そういう点が全然理解できない。町財政が破産するかどうかまで、来ている。

●財政が裕福な時期ならともかく、いま、お金が無い状況であり、補助金があるなら別だが、もっと考えてやっていただかないといけない。

●実質公債費比率だが、全国でワースト2である。ビラがでていたが、自由に使えるお金、自主財源は少ないのではないのか。

●野田川地域のこども園について、補助金はあるとは思いますが、いまの物価高を考えると、今検討されている予算では、到底無理かと思う。

●野田川地域のこども園建設が、町のやり方で遅れたというのが多分にあると思う。実質公債費比率が、これひとつが新聞に載り、他の指数等も考えると、大丈夫と言われても、なかなか信用できない。

●野田川地域のこども園に関しては7年も経過している。長すぎる。もっと早く英断をしてもらわなければ町民もくたばる。もっと良い場所があるのになぜ石川なのかびっくりした。国のハザードマップはもっと前からできていた。その時点であの場所はダメ。町長が英断されたのであまり言いたくないが、議会も早く英断するべきだ。

●給食センターについては、全町民への説明会があつてしかるべき。こども園も

石川地区だけでなく全町民に関わることだから説明をしっかりとすべき。

●こども園、中学校用地は、ハザードマップでも影響が無い三河内小学校が一番いい。今後は子どもも減っていく。

●給食センターが岩屋小跡地に建設されるが防護柵を作る計画はあるのか。昼から鹿が出る現況が心配、又農作物の被害も心配だ。

●中学校・小学校・保育所、上から順番に統合していけばこども園建設用地の問題は起きなかったのではないか。

●当町は北部で悪条件な地域で、企業も来なく税収も少ない。何か、ちりめんになる産業があれば良い。仕事があれば若いものも帰ってくるが。

●人口減の対策が大事では。

●まちづくりとは、住み続けたい町が大きな目標だと思う。これから、特に子どもたちが住みたいと思える町は何かを掘り下げないと難しい。

少子高齢化をどうするかが課題、糸口かと思うが、どう考えるか。

●一番懸念しているのは、少子高齢化だ。根本的なことは、結婚されない方が少ないと子どもが生まれにくい。町の人口は、毎年400名ぐらいが減っており、2万人を切っている。春になったら減る。高校生が都会に出る。

そういったことを、解決する方法を、皆が議論していない。家族の中で、子どもとも話をしない。だから、子どもにもそういった、帰ってくるという意識が全くない。そういった問題を解決しないと、人口は増えない。

また、もう一つは、選挙は民主主義にとって一番大事で必要なこと。政治の話が町民がしないという事は、町民のレベルが低いまま。物事を考えないという事だ。どちらも、根本原因を追究しないという点だ。議員には、町民に対して、情報、問題点を発信力で提案してほしい。

●商店がなくなり、企業がなくなり、国が何もしないから、我々は打つ手がないと指をくわえて見てるだけでは済まない。

こんな事を、この場所で、こんなことができる、人が集まる等、全国に自慢ができると言ったことを、議員も出してほしい。

●区役員や役職を受けてもらえる人が無くなってきている。何か手を打っていないといけない。人口減少の問題だけでなく、意識の問題。

●人口減少に対してどのようなまちを作っていくのか。それを考えればこども園の規模や建物の合意が得られる答えが出るのではないか。

●まちは集約していかないといけないと思う。

●住んでよかった与謝野町と資料にあるが、今後20年を考えた旧加悦町の構想があったが、できたとたんに関東と合併となり構想も無くなった。太田町長の時に何年後にはこうなるという計画を聞いて合併してよかったと思ったが、今となると不便は増えるし統合もある。学校も無くなると本当に若い人が帰ってくるの

か考えると、与謝野町はさみしいまちになる。

●町政に対して不満だらけ。10年先を考えると空き家と雑草のまちになる。町がどういう方向性を持っているのかさっぱりわからない。与謝野町独自の歴史や自然を活かしたやるべきことがある。

●帰ってきたい、住んでみたいまちにするべき。このまちをどうすれば人口が増えるか考えるべき。今は金が無いから何もしない。どんなまちにするか見えてこない。

●空き家問題について、加悦奥も空き家が多い。いくら移住をがんばっても隣が朽ち果てた家だと住みたくない移住の補助より解体費用の補助が必要。

●香河はファーマーズドライブのおかげで人が動く。地区としても常にきれいにしよう取り組んでいる。町も企業誘致をもっとがんばれば施設や働く場も増えるし、人も増える。

●町の住民の高齢化現象が心配だ。働き手として海外の人が産業もないようなこの町に来てくれるかが心配だ。

●若い方の移住が課題と感じる。

●子育て支援施策を実施するにしても、その財源はどうするのか。

●自主財源は4分の1で、交付税でやっていくのはしかたないがお金の使い方の見直しが必要ではないか。

●町にはいろいろな施設があり、リフレも休館している。どうしていくのか。

●公共施設の問題も、アンケートでどうしたら良いか、どうすべきなのか、意見を聞いたら良いのではないか。

●金が無いなら金のかからないことを考える。江山文庫ひとつにしても、草だらけでどこにあるかもわからない。KYTももっと見てもらえるように考えてほしい。町民の意見を聞かずになぜ蒸気機関車が他市町にいったのか。

●引きこもりが多いのも課題。

●明石では、グラウンドがない。避難場所に必要。他の地域で行事するのに送迎が必要で大変。

●個人商店がなくなった。明石では、ゴダイに行くのに、道路の横断が必要だが特に夜は危ない。照明もない。

●合併時には、高度な行政サービスが出来る。職員は専門的になると言ったが効果が感じられない。

●町民運動会を開催して一体感の醸成を。

●自由やプライバシーというのと、住み心地が良いというのは相反するものではなく、見守ってもらっている環境があると安心できる。そうすると人が集まり、何かしようという動きになる。足元を固めることでまちづくりが進む。今は縦のつながりが弱い。

●町として俯瞰的な（20・30年後を見越した）地区計画がないのではないかと感じている。

●自転車道の延長ジョギング道路の補修を府・町・議会・区長にお願いしているが進展がない。

資 料

「令和6年度与謝野町議会懇談会」アンケート集計結果

《懇談会開催日程及び会場》

令和6年10月10日・10月15日・10月16日（3日間）

知遊館・野田川わーくぱる・元気館

参加者数	45人	回収枚数	34枚	回収率	75.6%
男性	44人	女性	1人		

1 性別（%は、端数を四捨五入しているため合計は一致しません）

- ① 男性 33人（97.1%） ② 女性 1人（2.9%）
 ③ 記入なし 0人（0.0%）

2 年齢（%は、端数を四捨五入しているため合計は一致しません）

- ① 20代 0人（0.0%） ② 30代 0人（0.0%） ③ 40代 0人（0.0%）
 ④ 50代 3人（8.8%） ⑤ 60代 20人（58.8%） ⑥ 70代～ 11人（32.4%）
 記入なし 0人（0.0%）

3 議会懇談会に対する評価

① 配布資料はわかりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	15.6	160 点満点中	5点満点中
↑	4	12.5		
普通	3	56.3	105	3.3
↓	2	15.6		
悪い	1	0.0		
計	32	100.0		

無回答 2人

② 報告はわかりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	12.5	160 点満点中	5点満点中
↑	4	15.6		
普通	3	59.4	105	3.3
↓	2	12.5		
悪い	1	0.0		
計	32	100.0		

無回答 2人

③ 質問等に対する答弁内容はわかりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	22.6	155 点満点中	5点満点中
↑	4	19.4		
普通	3	41.9	107	3.5
↓	2	12.9		
悪い	1	3.2		
計	31	100.0		

無回答 3人

④ 総合的にどうでしたか。

評 価		回答数(人)	割 合(%)	合計点数	平均点数
良い ↑	5	6	19.4	155 点満点中	5点満点中
	4	8	25.8		
普通 ↓	3	12	38.7	106	3.4
	2	3	9.7		
悪い	1	2	6.5		
計		31	100.0		

無回答 3 人

⑤ 懇談会を何でお知りになりましたか。

1 お知らせ版	4 人	2 ホームページ	1 人	3 FM告知	2 人
4 文字放送	0 人	5 町内回覧	15 人	6 友人・知人・家族	2 人
7 その他(区、SNS等)	12 人			無回答	1 人

⑥ 懇談会のテーマについて

1 テーマを設ける	15 人	2 テーマを設けない	8 人
3 どちらでも良い	5 人	4 希望するテーマがある	3 人
		無回答	3 人

⑦ 開催会場について

1 24区	3 人	2 各小学校区	4 人
3 岩滝・加悦・野田川の3地域別	23 人	4 その他	2 人
		無回答	2 人

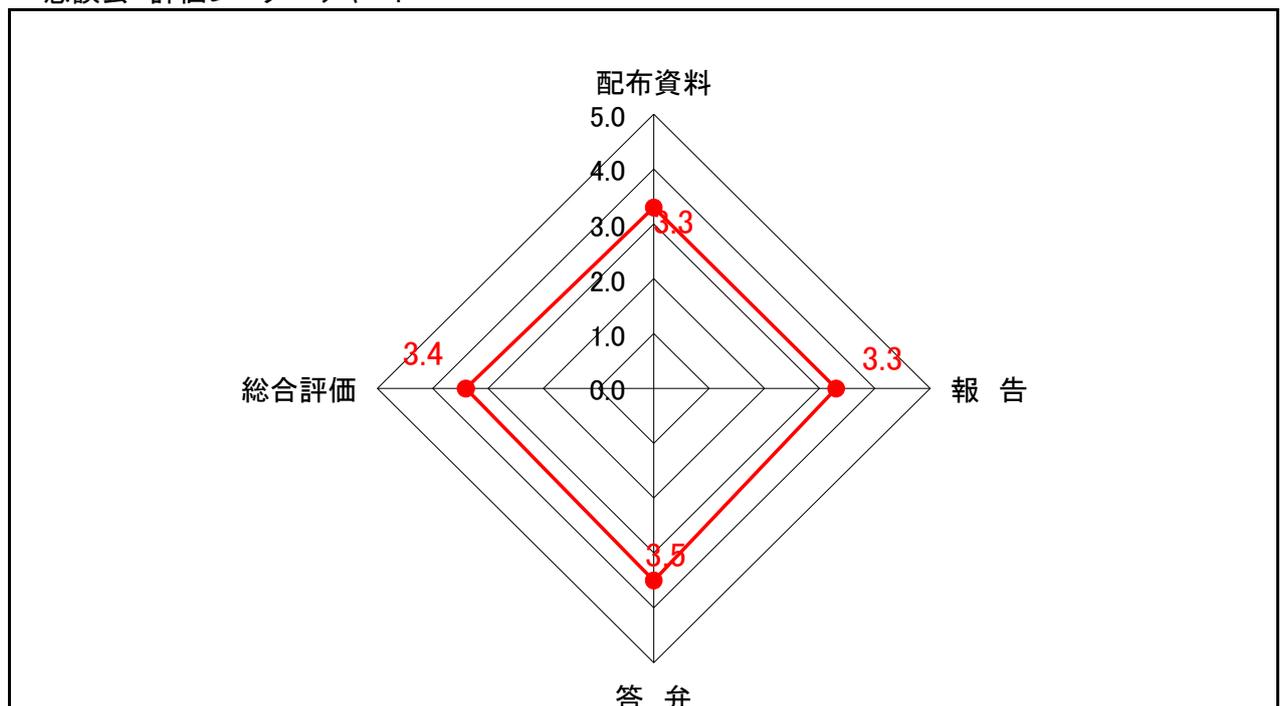
⑧ 開催方式について

1 今回のような少人数が良い	21 人	2 これまでのような大人数が良い	4 人
3 その他	1 人	無回答	8 人

⑨ 開催回数は

1 今のままで良い(年1回)	22 人	2 もっと多くしてほしい	10 人
		(2回2人)	無回答 2 人
		(3回2人)	
		(4回2人)	(回数未回答 1人)

* 懇談会 評価レーダーチャート



令和6年度議会懇談会 会場アンケートでの主なご意見等

(1) 懇談会の内容等について

- 今回の形式が大変良かったです。
- この形式の方がしゃべりやすかったですし、沢山の色々な意見が聞けました。ありがとうございました。
- 与謝野町の将来は明るくないと思った。今回のやり方は良いと思う。
- 今まで知らなかった事が新たに解りました。
- 野田川認定こども園7年間は長かったです。
- 参加者が少なかったのが気になる。
- 女性の参加者もあればもっと良い懇談会となると思います。
- ワークショップ形式で話しがしやすく良かった。
- 住民との話し合いをしてほしい。
- 色々な方法を試されるのはいいことだと思います。参加した班の中ではある程度の話しができたと思いました。時間をもう少しとっていただけたらありがたいですが。テーマが「まちづくり」と、範囲の広いテーマだったので、録音はされているので、議員さんにはわかると思いますが参加者には他の班の懇談の様子はわかりません。3会場で開催されるわけですが、できたら開催場所を1箇所増やし全体の主な意見を集約し懇談できる場が必要ではないかと思いました。
また懇談会の内容は、議会だよりやホームページで公開されると思いますが、中にはスマホもなく、インターネットもやっていない人もおられると思います。情報弱者にもご配慮をお願いします。
- 与謝野町をより良い町にしてほしい。
- 議員さんから、直接考えておられることとお聞きすることができ、良かったと思います。
- グループ化で積極的な意見が出たと思います。
- 色々な人の意見が聞けて良かったと思います。(偏った人ではなかったの)
- グループわけになって、しゃべりにくいなと思っていたが、ざっくばらんに話ができよかった。リード役も良かったです。ご苦労様でした。
- 「政治は男性、ボランティアは女性」という現状のなかで、より良い知恵を出し、工夫をすることができるのでしょうか。女性が参加しようと思える会にするには、どうすれば良いとお考えですか。
- いっぱい話が出て、議員の皆さんに聞いて頂きよかったです。今後も懇談会を続けて頂くことを望みます。
- 「町づくり」のテーマでのグループ討議になっておりました。議員さんを囲んでの4つのグループ分けでの懇談会でした。Bグループでは、議員4名町

民4名での討議でした。

与謝野町の会計事情について質問等がありましたが、町づくりのテーマであると、私は庁舎統合問題が重要と考えます。山添町長が現在10年経過する中での庁舎問題の解決に向け、町民に対し何も示されていない感じます。若くリーダーシップをとれる山添町長とと思っていましたが、残念です。庁舎統合・旧与謝小学校の活用等指針を議会と共に町民に至急示していただきたい。
○議員さんも問題提起に対して、複数の回答を考えてほしい。出来ないと言わないでほしい少しでも良い方向に持って行ってほしい。

現在、町民が一番たよりにしている所は、”区”です。異常気象等により災害が多くなり、そのたびごとに区民会館を開けてもらう等区長さんの仕事がふえてお世話になる事が多い。

つきまして、

- ・区長様はボランティアで仕事をしていただいている
- ・議員さんは月給で仕事をしている
- ・生活している時、困ったことは区長、組長さん一番にお願いに行っている
- ・議員さんの所は、まず行かない

議員さんは、区長さんよりの申し出、お願い等は出来るだけ聞いていただき実行してほしい

○全会場に参加させていただいたのですが、各会場とも参加者の人数が少ないように感じました。参加人員を増やすため、議員さん・事務局の努力をお願いします。

一長一短はあるかと思いますが、今回の試みは良かったのではないかと思います。

私は、日常では議員さんとお話する機会はほとんどありません。議会の放送をTVで拝見する議員さんとは違う普段見られない印象を受け身近に感じました。議員さんや参加者も和気藹々の雰囲気良かったのではないかと思います。

ある議員さんが、次回の懇談会は参加者全員による円卓会議形式にしてはどうかと提案されました。皆の顔が見えるところで懇談するのは良いことだと思いますし、皆の意見が伝わるのでいいのではないかと思います。

○私の感想ですが、テーブル方式の欠点としては、参加している班以外の内容はまったくわかりません。事務局の方が、まとめて報告されると思いますが、参加者全員が懇談を共有できるいい方法がないかお考えください。

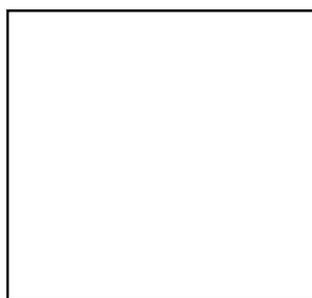
(2) 議会に対するご意見等について

○町づくりー将来に向けて良い案が思いつかない。観光など難しいが、勤め人にやさしい町づくりは良いと思った。

○人数が少なかった。

- 懇談にて意見をしました。
- 開催回数に書いておきましたように、たいへんお忙しいとは思いますが、年4回ある定例会ごとの開催をお願いします。定例会で話題になった問題を主なテーマとして懇談会を開催していただければありがたいと思います。開催時期につきまして、議会の録画放送が終わってからの日時に設定していただければ参考になり大変ありがたいです。
今回テーマの「まちづくり」について、与謝野町誕生20年の節目を迎えるにあたり、町民全員による将来の与謝野まちづくりの方向性を考えるアンケートの実施を、ぜひお願いいたします。
- 現在私が行政や議会に対して意見や要望をお願いする手段として、行政機関には直接担当場所に行きお願いをする、町政懇談会、街角町役場、心配ごと・行政相談、府民協働型インフラ保全事業等をお願いをしています。議会に対しては、直接お願いをする、議員さんをお願いをする、議会事務局にお願いをする、議会事務局等をお願いをしています。色々な方法で行政や議会に対し要望や意見を伝える方法があるかと思いますが、議会から意見や要望の伝える方法を町民に、公聴をしていただくわけにはいきませんか？ご検討下さい。
- 懇談会にて、議員一人一人のテーマ（志すもの）を話してほしい。
- 常に住民の味方でいて下さい。（代弁者として）よろしくお願いします。
- 議員さんと住民住民がもっと触れ合う場がある方がよいと思います。町に対する意見をもっておられる方は大変多いにもかかわらず、その意見を反映する場があるのでしょうか。
- 町議会の存在に、町民の願う立場に添っているように思います。チェック機能を今後も発揮されますように思います。
- 議会について、極論です。お金がない与謝野町において議員に対する報酬ですが、議員数も含め、議員間で問題視はしていませんか？
改正案 議員数半数にする・議員報酬については基本ボランティア（議会出席数支払い）
一度議員間で協議されたらどうですか？
- 町の”議会だより”に町の提案に対して、反対賛成の結果一覧表が出ているが、反対した全議員の意見を一行でよいから載せてほしい。選挙の参考にしたいため。

与謝野町議会懇談会



テーブル

令和6年10月

与謝野町議会

与謝野町議会 議会懇談会次第

①開	会	議会運営委員長
②開会のあいさつ		議 長
③議会からの報告		議会運営委員長
④自己紹介		各 議 員
⑤懇	談	
⑥閉会のあいさつ		議会運営委員長

●議会からのお願い

- 記録のため写真撮影や録音をさせていただきます。
- ご質問の内容によりましては、調査後回答させていただくことがあります。
- 今後の活動に活かすため、アンケートのご協力をお願いいたします。
- 本懇談会は、町民の方の声を広くお聞きすることにより、議員の資質向上と活動の一助とすることを目的としております。忌憚のないご意見をお聞かせください。

MEMO

議会懇談会資料

議会からの報告

- 与謝野町議会では、議員16名全員が、3つの常任委員会のうち総務文教厚生常任委員会、産業建設環境常任委員会に所属し、会期中会期外を問わず、日々活動しております。

また、総務文教厚生常任委員会、産業建設環境委員会から選抜された広報常任委員会委員は、「議会だより」編集・発行を行っております。

今回の議会懇談会の開催にあたり、各常任委員会の現況を報告させていただきます。

①総務文教厚生常任委員会

所管の課は、総務課・企画財政課・住民税務課・福祉課・保健課・子育て応援課・教育委員会（学校教育課・社会教育課）・会計課になります。（8課）

喫緊の課題としては、財政健全化、計画的な行政運営、小学校を含む施設統廃合、公共施設の指定管理のあり方等の検討課題が山積しており、また近年異常気象とも言われる風水害や地震に対する地域防災のあり方も課題であります。住民の暮らしと安心安全な町づくりは不可欠であり、行政、各担当課をはじめ、各種団体との協議や懇談を通し、諸課題等について、調査研究を積極的に進め、少しでも行政施策に活かされるよう取り組んでまいります。

②産業建設環境常任委員会

所管の課は、農林環境課・産業観光課・建設課・上下水道課になります。（4課）

喫緊の課題は、商工業支援、農業支援、企業誘致、広域観光振興のあり方、公共の観光施設の管理方法、考え方などが課題であります。とりわけ下水道料金の見直し、ごみ処理有料化など諸課題に対し、行政、各担当課をはじめ、関係団体と協議、懇談会を通し調査研究を重ね、先進地の視察などの研修により、少しでも住民利益に繋がるよう取り組んでまいります。

③広報常任委員会

構成は総務文教厚生常任委員会と産業建設環境常任委員会から3名ずつ選抜され、そこに副議長が加わる構成となっております。

主に年4回発行する「議会だより」の編集、発行を職務としております。

町民の皆様手に取って見ていただけるよう読みやすい広報誌を目指して日々研鑽しております。

議会の今後の取組みとして、議会の活動をさらに皆さんにご理解いただくため、議会懇談会の取り組み方、ハラスメントの研修、議会のペーパーレス化の研究など、議会活性化に向けて、積極的な調査・研究に努めてまいります。

与謝野町議会では、町民の皆様と一体となり、また議員間での協議を重ねることによって「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」が実現できると信じております。これからも一歩ずつではありますが着実に進んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解と一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

● 与謝野町議会の概要

議会は、町の予算や条例などの議案を審議し、決定（議決）します。また、町の事務が適切に行われているか監視する役割も持っています。

議会と町長は、お互いの独立・対等の立場を尊重しながら、牽制や協力しあい、町民のためのより良い町政の実現をめざしています。

また、議会では町民の願いを請願・陳情というかたちで受け付けています。

【定例会と臨時会】

議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会」と、緊急に議会の議決を必要とする事項を審議するために開かれる「臨時会」とがあります。

【本会議】

定例会や臨時会において、議員全員が集まって開かれる会議を本会議といいます。この本会議で議会の最終的な意思決定を行います。

【議員の人数と任期】

議員数 16人（条例定数16人・現在16名）

現議員の任期は、令和4年4月16日から令和8年4月15日まで

【議会の構成及び組織】

議 長 山崎 良磨 副議長 渡邊 貫治 監査委員 家城 功

【委員会】

委員会には、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会があります。

《常任委員会》

一定の部門の町の事務に関する調査及び議案や請願、陳情などの審査を行います。

総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会・広報常任委員会の3つの常任委員会があり、総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会は全議員がいずれか一つの委員会に所属しています。

広報常任委員会は、総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会から各3名と副議長により構成されます。

また、常任委員会は、所管する課の事業などについて、議会の閉会中にも、調査・研究等を行います。

[各常任委員会の構成・所管事項]

◆総務文教厚生常任委員会（8人 定数8人）

総務課、企画財政課、住民税務課、会計課、福祉課、保健課、子育て応援課及び教育委員会の所管並びにそれらに関する事項

所属議員	委員長	和田 裕之	副委員長	今井 浩介
	委員	杉上 忠義	高岡 伸明	永島 洋視
		浪江 秀明	三田 義幸	山崎 良磨

◆産業建設環境常任委員会（8人 定数8人）

農林環境課、産業観光課、建設課及び上下水道課の所管並びにそれらに関連する事項

所属議員	委員長	野村 生八	副委員長	河邊新太郎
	委員	藤田 史郎	宮崎 有平	山崎 政史
		安達 種雄	家城 功	渡邊 貫治

◆議会広報常任委員会（7人 定数7人）

広報誌「議会だより（年4回発行）」の編集、発行を行っています。

所属議員	委員長	安達 種雄	副委員長	浪江 秀明
	委員	杉上 忠義	野村 生八	宮崎 有平
		永島 洋視	渡邊 貫治	

《議会運営委員会》（7人 定数7人）

議会の円滑な運営を図るために、会議の日程や運営の手順のほか議会運営全般について協議し、意見調整を図る場として設置しています。

副議長と2人以上の会派から各1人が選出されます。

所属議員	委員長	宮崎 有平	副委員長	永島 洋視
	委員	今井 浩介	浪江 秀明	安達 種雄
		和田 裕之	渡邊 貫治	

《特別委員会》

特定の事案を調査、審査するため、特に必要があるときに議会の議決によって設置されます。現在、設置されている特別委員会はありません。

【全員協議会】

議案の審査又は議会の運営等に関し協議又は調整を行うために、全議員を対象に開催します。

□ 会派別議員

日本共産党与謝野町議員団【永島・高岡・野村】

秀貫クラブ【浪江・渡邊】

希望の会【安達・三田】

よさの21クラブ【今井・和田・山崎政・家城】

みらいの会【宮崎・藤田】

無会派【杉上・河邊・山崎良（議長は会派に属さないこととしています）】

※会派は、2人以上の議員で結成することとしていますが、議長が所属していた会派は、1人でも認めるものとしています。

.....

□ 議会の開催状況（令和5年1月1日～12月31日）

***定例会**

★会 期

3月（ 3月1日～ 3月29日 29日間）

6月（ 6月1日～ 6月15日 15日間）

9月（ 9月1日～ 9月26日 26日間）

12月（12月1日～12月19日 19日間）

***臨時会**

★開催日 2月15日

***常任委員会** 43日

総務文教厚生常任委員会 21日

産業建設環境常任委員会 16日

広報常任委員会 17日

***議会運営委員会** 16日

***全員協議会** 7回